またまた暑かった夏

飄々

広報委員

川野　豊一

というわけで、「夏が暑かった」と書くのは３年連続である。他に書くことはないのかと言われれば、「暑さでボーっとしていて他のことは思いつかなかった」などと言い訳ができそうである。

しかし、暑かっただけではなかった。８月８日には日向灘地震が起こり、引き続いて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表された。急に「巨大地震注意」と言われても、地震の際に何をどう注意すればよいかなど、自慢ではないが真剣に考えた覚えはない。つまるところが、他人事という状態で特段普段と変わったことをするでもなく、８月15日に「特別な注意の呼びかけ」は終了したのである。気象庁によれば、南海トラフ沿いの大規模地震（マグニチュード８～９クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから、切迫性の高い状態であるらしい。つまり、南海トラフ沿いではいつ大地震が発生してもおかしくないので日ごろから地震に備えよ、とのことである。具体的にどのように備えればよいのか考えなければと感じた。

８月末になると今度は台風10号（サンサン）である。当初はもっと東寄りの進路をとると予想されていたので、何の心配もしていなかったのである。ところがサンサンは、こちらの思惑や目論見、計画などを考慮することなく、自分が行きたいところ（実は行かされるところ）へと歩みを進めたのである。それにしても、サンサンの歩みは遅く、停滞していた南九州では大変であったろうし、ちょっと離れた当方でもやきもきする時間が長くなったので迷惑であった。やはり、台風はさっと来て、さっと去ってくれるのがよい（来ないに越したことはないが）。

それでも、地震に比べると台風のほうがまだ具体的な想像ができるような気がする。台風の経験はそれなりにあるが、大きな地震にあったことがないためであろう。実際に経験したことがないことを想像するのは困難であろう、と想像するのはそう困難ではないと思う。日本は地震や火山、台風、大雨など自然災害が多い。万一に備えて準備しておくのが良いのだろうが、そのためには想像力が必要であることを認識した。

多くの先生方にご加入頂いております！
詳しい内容は、下記お問合せ先にご照会ください
取扱代理店　山福株式会社
TEL 083-922-2551
引受保険会社　損害保険ジャパン株式会社
山口支店法人支社
TEL 083-231-3580
お申し込みは
随時
受付中です
医師賠償責任保険
所得補償保険
団体長期障害所得補償保険
傷害保険
SOMPO
損保ジャパン